

人吉市復興まちづくり計画

■ 計画策定の目的

市では、令和2年7月豪雨災害からの復旧復興に向けた大きな指針となる「人吉市復興計画」を3月に策定しました。計画の基本方針では“市民一丸となって取り組む復興”を掲げ、この甚大な災害を乗り越えさらにより良いまちとしていくためには、地域住民、地域事業者、行政等が一体となって復興への歩みを進めていく必要があります。

今回策定した「人吉市復興まちづくり計画」は、被害を受けた地域等の実情や課題が異なることを踏まえ、地域ごとにどういった対策や取組が必要かを住民の方が中心となり検討を重ね、復興に向けて地域が提案する内容を整理し、計画にまとめたものです。災害に強く、未来への希望につながるまちづくりに向けて、ハードとソフトの両側面から地域ごとに必要な対策、取組をまとめています。

■ 計画の検討体制

地区別懇談会等における
必要な対策等の検討
(R3.4月~10月)

- 地域の課題だし
- 治水対策とまちづくり・避難の考え方
- 地域の課題をもとに必要な対策の検討
- 復興まちづくり計画案として整理

提案

人吉市復興まちづくり
計画へ反映

計画全文は市ホームページでご確認いただけます。



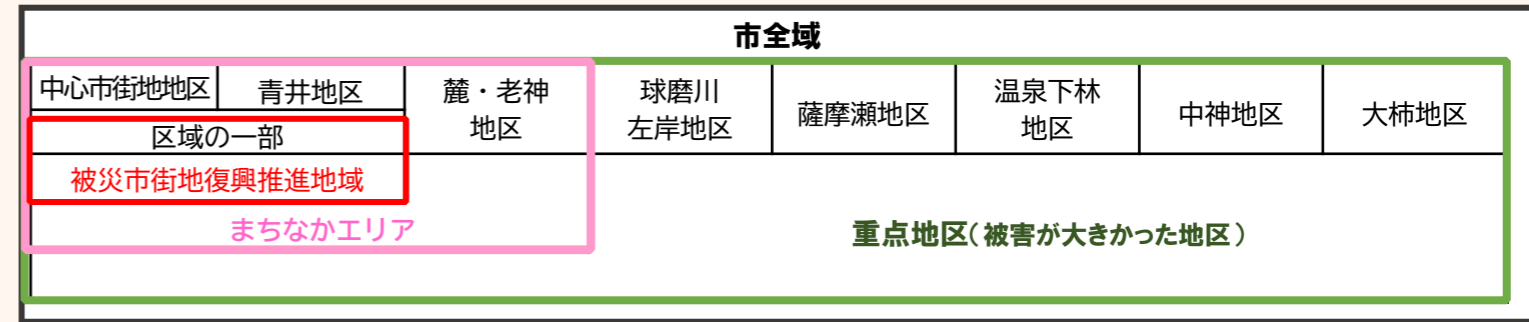
読み取ると市ホームページへリンクします

■ 計画期間

令和3年度~令和9年度

■ 計画の対象地域

市全域を対象としますが、特に被害が甚大であった地域を「重点地区(8地区)」と設定し計画を整理しています。また、市中心部で一体的に取組を進めていくことが求められるまちなかエリアについては「人吉市まちなかランドデザイン」として計画を整理しています。



■ 計画の推進に向けて

復興まちづくりにあたっては、地域住民、事業者、行政等が自ら主体的に取り組むことが重要です。適切な役割分担のうえで連携・協働し一丸となって計画実現に向け取組を進めます。

※計画はR3.10月時点版を初版として取りまとめ、復旧復興の進捗や状況変化を踏まえ柔軟に見直しを行います。

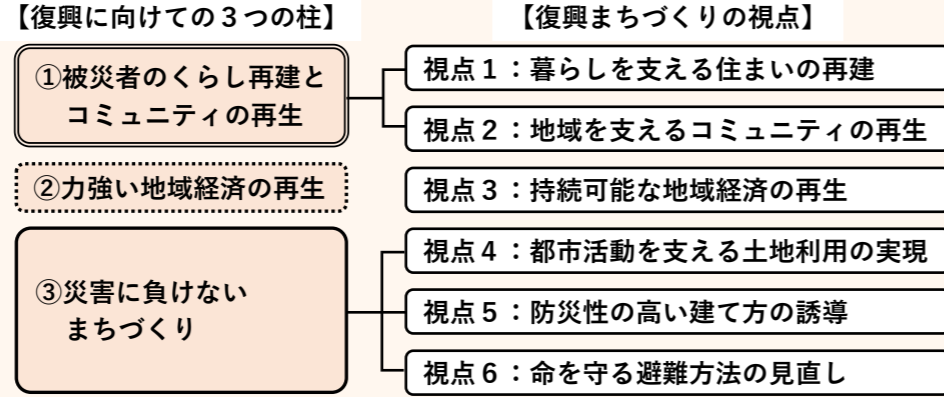
(問い合わせ) 人吉市役所復興支援課
☎ 0966-22-2111(代)
Mail: fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

まちづくりの担い手・プレイヤー ~誰が主体となって取り組むか?~



■ 復興まちづくり計画の基本方針

復興にあたっては、流域治水プロジェクトに基づく治水対策の推進を前提としながらも、くらしやコミュニティ、地域経済の再生を図りながら災害に負けないまちづくりを進めていく必要があります。この計画では右図に示す視点に沿って各地域の取組方針を整理しています。

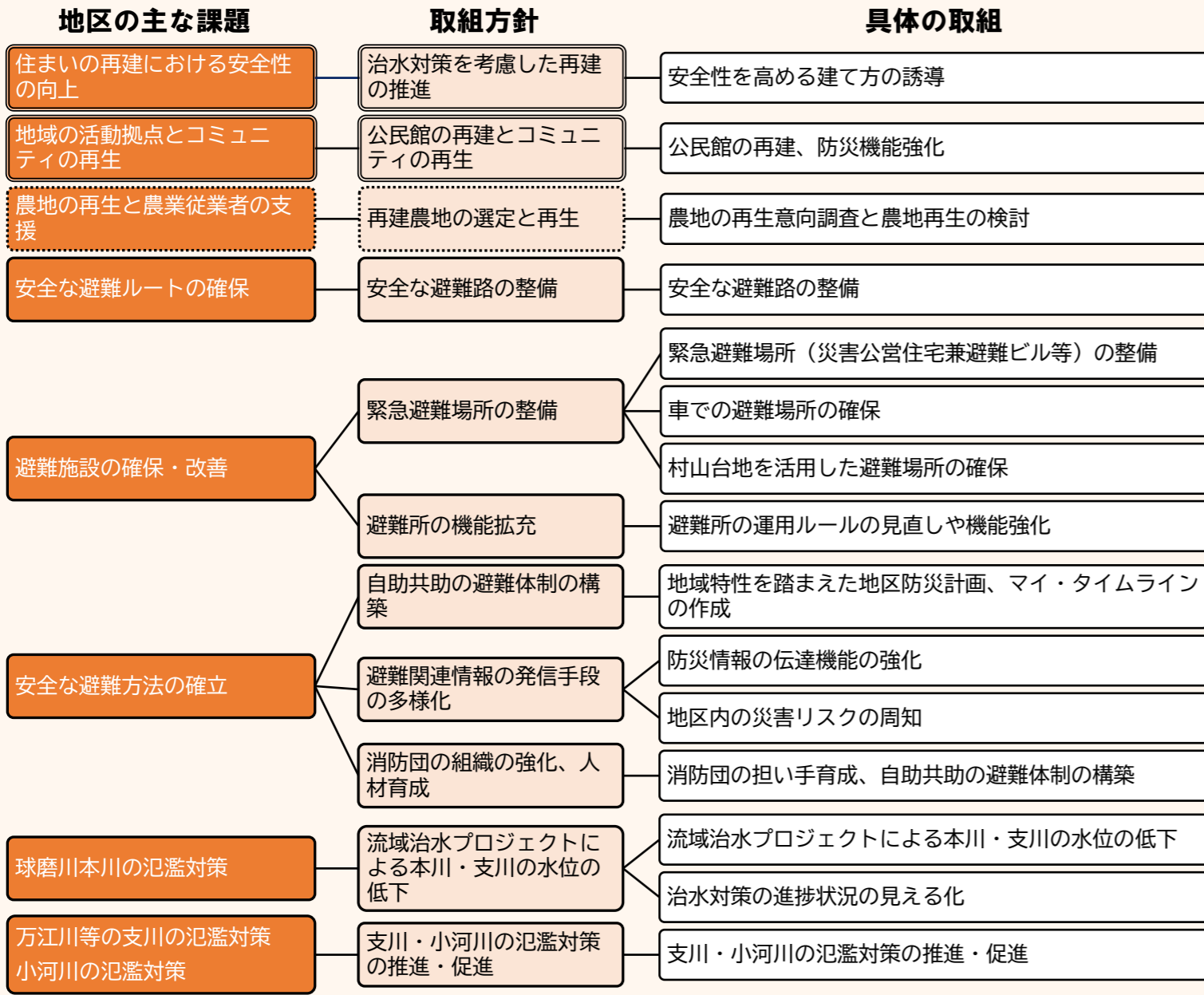


薩摩瀬地区の復興まちづくり計画

対象地域 宝来町、相良町、上薩摩瀬町、下薩摩瀬町、下城本町

復興まちづくりの目標

散歩道に花が咲きホタルが飛ぶ、住んで良かったと思えるまちづくり



薩摩瀬地区 復興まちづくり計画【地区整備方針・避難ルート図】

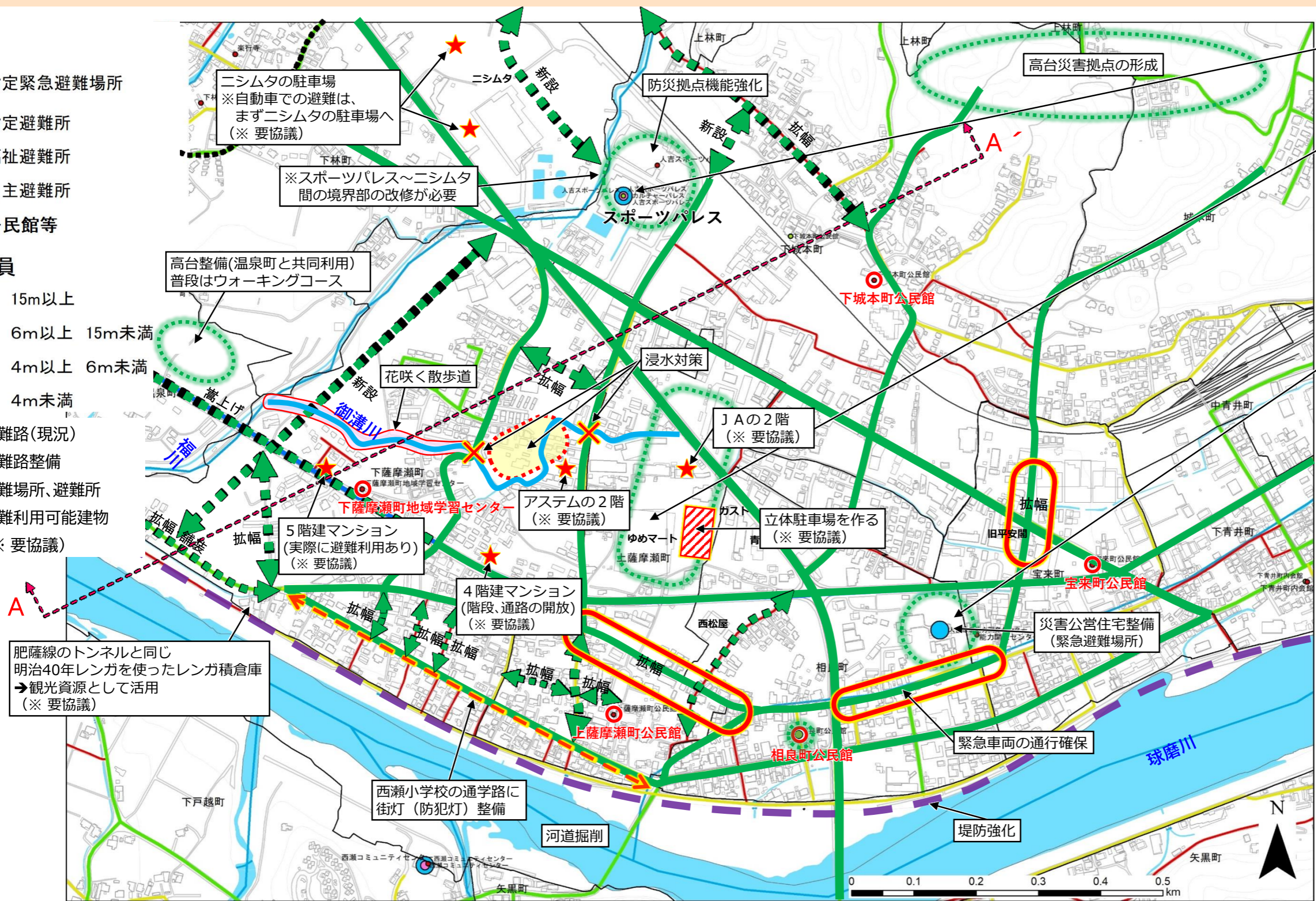
凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 自主避難所
- 公民館等

道路幅員

- 15m以上
- 6m以上 15m未満
- 4m以上 6m未満
- 4m未満

- 避難路(現況)
- - - 避難路整備
- 避難場所、避難所
- ★ 避難利用可能建物 (※要協議)



スポーツパレス
防災拠点としての安全性、機能拡充を推進、市街地からの避難経路を確保。

大型量販店の防災施設活用
自治体と協定を結び、大型量販店のBCP等として、災害発生時における商品調達・物流網機能、緊急避難場所として施設を活用 (※要協議)。

緊急避難場所整備
避難路沿いに、逃げ遅れた際に逃げ込める想定最大規模以上の避難タワー・避難ビルを整備。



災害公営住宅 (若手県陸前高田市下和野地区)

公民館・コミュニティ施設
交流の場、防災機能の拡充に配慮しつつ、集会所を復旧。

避難路整備
避難開始早期にて多方向に避難ができるように避難道路の拡幅・高上げ。ブロック塀等の倒壊にも配慮。



上薩摩瀬町公民館前 市道 (離合困難)

市街地の浸水対策
堤防強化、放水路などとともに、高上げ、建物1階ピロティ化、建物構造耐水化などを推進。

農地の集約化、利活用
継続意向に基づき、有効的な土地利用を推進、条件付きによる農地外転用。

小河川の整備、排水機場整備、耐水化
小河川の雑草等を定期的に撤去し、清らかな水辺環境を維持するとともに、各小河川の排水機場の整備・耐水化を促進する。

断面イメージ図



※避難場所については、令和3年度避難場所の内容に合わせて一部修正しています。本編は次回改定時に合わせて修正を行う方針です。